

ひろげる つながる ろうけんの輪

ろうけん

ROKEN Kagoshima

鹿児島



No.122

令和8年(2026)
1月1日発行



「窓辺のシクラメン」 祝迫 正豊

公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会

INDEX

時代を読む	1
今村 英仁	
詩人・児童文学者 藤川幸之助氏	
鹿児島県老健協部会で講演	2～4
老健に入るためのご案内	5
研く 究める	6～11
協会だより	11
令和7年度 研修会	12～13
ぶらぶらが素敵 かごしま ²²	14～15
こほれおちたものもの ⁴⁶	16
三角 みづ紀	
ふるさとフォーカス	17
かごしまの食卓 冬編	18
介護用品あれこれ	19
あなたの地域の介護老人保健施設	20～24
伊佐・始良地区	
日置・川薩・北薩地区	
鹿児島地区	
曽於・肝属地区	
南薩地区・熊毛・大島地区	
表紙絵	
「窓辺のシクラメン」	25
祝迫 正豊	
編集後記	25

ろうけんとは

「ろうけん」とは、介護保険が適用される介護老人保健施設の愛称です。県内の76カ所の施設が公益社団法人鹿児島県老人保健施設協会を組織しています。この冊子「ろうけん鹿児島」は、同協会の広報誌です。



桜島の燃ゆるが如く

鹿児島県老人保健施設協会 代表理事

今村 英仁



鹿児島県老健協会会長と九州ブロック長を務めさせていただいておりますが、日本医師会の役割を兼ねるようになってから、

充分に鹿児島県の老健の状況に目配りができていないことを大変申し訳なく思っています。一方、ここ3年間、医政に非常に近いところで仕事をする中で、特に強く感ずることがあります。昨年、奄美大島の介護老人保健施設虹の丘の開設30周年記念市民公開講座でこの思いをお話しました。年頭にあたり、その内容をお伝えしたいと思えます。

まず皆さんに質問です。

(1) 現在、医療機関、特に病院や、介護施設の経営が危機的な状況に陥っていることを知っていますか？

(2) 先の参議院選挙では、社会保障料の減額や社会保障の財源である消費税減税が争点となったことを知っていますか？

(3) これらの減額・減税が実現すれば、医療機関・介護施設の経営は益々厳しくなり、ある日突然、我々医療・介護スタッフが無くなったり、もしくは、給料やボーナスが払えなくなったりする事態が起こり得ると想像できますか？

(4) これからも目の前の患者さん・ご利用者さんのために安心・安全なサービスを提供することだけを考えれば、我々の生活は保障されるのでしょうか？

日本では、2000年の介護保険制度の導入により、「介護の社会化」が急速に進みました。社会福祉学における「社会化」の考え方は、「これまで家族等が私的に・限られた範囲内で行ってきたことを、これからは社会全体で行っていく」ことを核とする概念です。「介護の社会化」により、家族で行ってきた介護を社会全体で支え、行うこととなりました。これにより、家族の負担は軽減されましたが、少子高齢化と単身高齢者の急増、さらに、物価高騰と人件費高騰が続く中で、その基盤が崩壊しようとしています。

それは、一体どうすれば良いのでしょうか？まず大事なことは、現在の環境を充分に理解して、覚悟することです。その上で、自分の生活は自分で守るしかありません。そのためのチェック項目を次に記載します。・今働いている職場は、どんな制度の、どのような基盤の上で運営されているかを知る。

・医療保険・介護保険制度は、国の社会保障制度であり、「公定価格」でサービスが提供されていることを理解する。

・制度は、国民の代表である「国会」で決まり、自分たちで勝手に変更できない。

・公定価格（診療報酬・介護報酬）の下では、事実上、国が医療・介護の現場で働く職員の給料を決めています。

・社会保障料や消費税が下がる、診療報酬・介護報酬の公定価格が下がり、その結果、経営が厳しくなり、給料が下がることとなります。医療・介護・福祉に従事する人は、今までほとんど意識しなかった「医政」について強く認識する必要があるのです。

非常に厳しい内容となりましたが、来年には鹿児島県の地で第38回全国介護老人保健施設大会が開催されます。この厳冬の時代だからこそ、「桜島の燃ゆるが如く」に日本全国を元気にする大会に盛り上げていきましょう。今まで以上の皆様のご支援をお願いします。



母と父との関わりを通して介護での苦悩や葛藤について披露

「支える側が支えられていた」 認知症の母が教えてくれたこと

詩人・児童文学者

藤川幸之助氏

鹿児島県老健協部会で講演

示唆に富む経験

認知症の母親の介護を経験した詩人・児童文学者の藤川幸之助さん（63）が昨年9月、鹿児島市の県医師会館で講演しました。藤川さんは「母を支えていると思っていた自分が、実は母に支えられ、育てられていた」と振り返りました。講演は県老人保健施設協会の在宅ケア・支援相談部会会員を対象に開かれ、自作の詩を交えた話は、介護の現場で高齢者と接する会員にとって、示唆に富む内容となりました。（米森）

藤川さんの母親は60歳のとき、アルツハイマー型認知症と診断されました。母親が84歳で亡くなるまで24年間、藤川さんは介護に向き合ってきました。

「介護をする中、苦しみや悲しみ、苛立ちもあった」という藤川さん。母を抱きかかえながらおむつを替え、「なんでこん



母の介護を元に作った詩を披露しながら
講演する藤川幸之助さん

・・・ プロフィール ・・・

ふじかわ・こうのすけ 詩人・児童文学作家。日本児童文学者協会会員。長崎大学大学院教育学研究科修了。長崎県内で小学校の教師を経て現職。認知症の母親の介護の経験を元に命や認知症を題材にした作品をつくり続けている。全国で毎年数多くの講演会を行っている。

な思いをしなくてはならないのか」と思ったこともあったそうです。

藤川さんは最初「徘徊や奇行を繰り返す母親が生きている。あちら側」は異常な世界、自分がある「こちら側」は正常な世界だと線引きをしていた。でもある時に「線引きをして、その人を見つめるよりも、変に見える行動がその人を理解する入り口であると気づいた」と言います。

母親の介護を担っていた父親が亡くなった直後、母親が徘徊。「後で考えたら、母は父がいなくて分かって必死に探していた。それが分かっていたら一緒に手をつないで『お父さんはどこに

行ったのだろうね」と一緒に歩いてやれたのに、当時それができなかった」と悔やみます。

藤川さんはおむつを替えたり食事をさせるなど、その人が生きていくための介護を「太陽の介護」と呼ぶ一方、その人の側にいてじつと寄り添う介護を「月の介護」と呼んでいます。そして「特に何をするでもなく、ただそこに静かにいてその人にまなざしを向け、心を寄り添わせる月の介護が重要」と指摘します。

「言葉を話せる人にはその言葉に耳を澄ませばいいですが、言葉のない人の場合はその存在に耳を澄ませることです」。



講演に参加した在宅ケア・支援相談部会の会員たちは藤川さんの話に聞き入った

藤川さんは施設にいる母親に「まなざし」を向け、手を握るとき、「母と同じ速さの時間が流れていることを感じる」ことができ

た。

「認知症の母を、人間としてダメになっていると思っていたが、母はダメになっているのではない

く、生まれたときと同様、ただ存在そのものに返っていた。その母の姿が私の中から、人を愛する気持ちをぐいぐい引き出し、育ててくれたのではないかと思うのです」

母が認知症という病気ではなかったら、自分はこれだけ母のことを思いやっただろうか。亡き父があれば母を愛し、世話をしただろうか。「母は認知症になって必死に生きた。それを支えた私と父もまた、母と必死に生きた。思えば、認知症が父と私と母の絆を結び直してくれたような気が今はしています」

母親は意味ある言葉を発することができなくなり、意味ある行動もできなくなった。「そんな母が私を育てた。人はそこに生きて存在するだけで大きな意味を持つているのです。私たちは生かされている。人を支えるということは人に支えられるということなのです」

扉（とびら）

認知症の母を
老人ホームに入れた。

認知症の老人たちの中で静かに座って私を見つめる母が涙の向こう側にぼんやり見えた。私が帰ろうとすると何も分かるはずもない母が私の手をぎゅつとつかんだ。そしてどこまでもどこまでも私の後をついてきた。

*

私がホームから帰ってしまおうと私が出ていった重い扉の前に母はびつたりとくつついてずっとその扉を見つめているんだと聞いた。

それでも
母を老人ホームに入れたまま私は帰る。
母にとっては重い重い扉を私はひょいと開け
また今日も帰る。

『満月の夜、母を施設に置いて』（中央法規）



よかど鹿児島(鹿児島市)で開かれた県老健協の県民公開講座でも藤川幸之助さんが講演。100人余が熱心に聴講した。

老健に入るためのご案内

1つの事例

入院中の父を入所させたい

【質問】 70歳の父が脳梗塞で入院中です。病院での治療を終え、要介護2の認定を受けました。歩行が不安定なので、いったん老人保健施設に入所し、リハビリを受けたいと考えています。老人保健施設へ入所するにはどのようにすればいいのでしょうか。

【お答え】 介護老人保健施設（以下老健）は、病状が安定して、病院での治療よりも、看護や介護、リハビリに重点をおいたケアを必要とされる高齢者を対象とした施設で、高齢者の心身の自立を支援し、親しみやすい環境の中で、家庭生活への復帰を応援します。入所の利用対象者は要介護1～5の認定を受けられた方です。

以上のことから、このケースは老

健の入所対象になると考えられます。施設入所までの流れは次をご参照下さい。

まず施設を探す

現在、鹿児島県内には76の老健があり、各地に点在しています。これらの老健については、役場の介護保険窓口で紹介してもらうことができます。他、電話帳の「介護老人保健施設」欄や本誌巻末でも連絡先を知ることができますので、近くどんな老健があるのか探してみして下さい。

気軽に相談を

施設が見つかったら相談してみましょう。老健には必ず「支援相談員」があり、入所等の相談に応じていますので、相談時には支援相談員を尋ねてみて下さい。相談の形は電話でも直接足を運んで

もかまいません。施設からは利用者ご本人とご家族について、また要介護度や連絡先などを確認させていただき、それに併せて施設の説明を行いますので、料金や待機状況など不明な点は何でも気軽に聞いて下さい。要介護認定を受けていない場合でも、申請の仕方などケースに応じた説明を行いますのでご心配いりません。

入所待機の申し込み

相談の後、利用者側が入所を希望され、施設側も受け入れ可能と判断しましたら、入所待機の申し込みを行い、一旦待機に入ってください。申し込み方法や待機状況は様々で、施設によっては電話での入所申し込みが可能なのもあります。ですが、老健についてより知っていただくためにも、時間をみつけて1度施設を見学される事をおすすめします。

待機中は

入所日が決定するまでの間に、利用者の状態の変化や、他施設への入所決定等があり、待機の必要がなくなられた場合には、待機中の施設へ連絡をいただくと助かります。

入所までの大まかな流れは、上記のようになります。また、ホームページも参考にしてみて下さい。

老健への入所の大まかな流れ

利用者・家族

施設探し

※老健の連絡先については、市町村役場介護保険窓口で紹介してもらうことができる他、電話帳の「介護老人保健施設」欄や、本誌巻末でも連絡先を知ることができます。

電話相談

※老健には必ず「支援相談員」があり、入所等の相談に応じていますので、相談時は支援相談員を尋ねてみて下さい。

施設見学

施設の説明に併せて
・利用者の状態
・要介護度（未申請の場合はお知らせください）
・連絡先 などお尋ねします。

※施設見学の際は事前に各施設へ電話にてご連絡ください。

利用者側の入所希望+施設側の受け入れ可能判断

入所（待機）申し込み

※申し込み方法・待機状況は施設毎に異なります。施設によっては電話で入所申し込みが可能な施設もありますので、気軽にお尋ねください。しかし、老健についてより知っていただくためにも、一度施設を見学されることをおすすめします。

入所



研 究 究 め る

よりよい介護を自さし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

A氏が教えてくれた「転んだっていいじゃない。」という考え方 ～ 本人の思いを尊重することとは パーソンセンタードケア ～

介護老人保健施設 愛と結の街（鹿児島市）

介護福祉士 川元真由美
介護福祉士 中村真由美

【はじめに】

当施設の認知症療養棟では、利用者が「安全に安心して過ごせる環境を整えチームで支える療養棟」を目標に掲げ支援を行っている。しかし、職員の人員不足に加え、医療ニーズの高い認知症利用者の増加により、利用者の安心や職員のケアに対する満足度が思うように得られない状況がみられ始めた。今回、A氏の行動・心理症状（BPSD）の出現がきっかけとなり、A氏の困りごと、満たされないニーズは何か、担当職員を中心にチーム全体で情報収集を行い、A氏の視点でのアプローチを考え実践した。それにより、A氏の行動・心理症状と、職員のケアに対する意識に大きな変化をもたらす結果が得られた為ここに報告する。

【対象と方法】

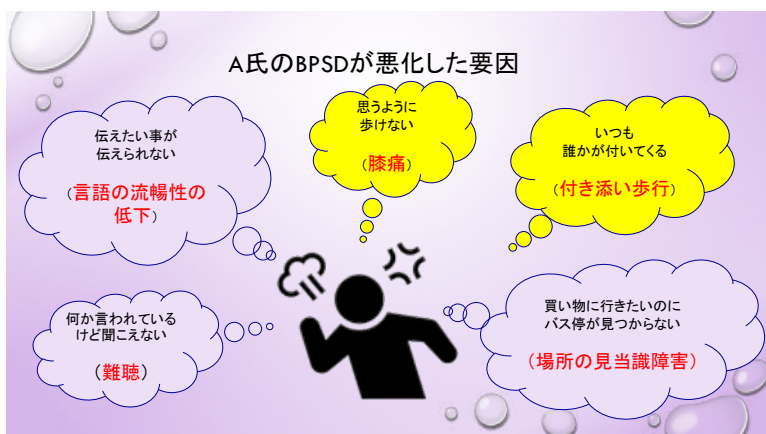
対象者…A氏 90代 女性 要介護4 アルツハイマー型認知症 難聴

研究期間…令和6年6月～8月末
方法…樹状モデル、ケースカンファレンス、パーソンセンタードケアを意識したケアの実行

【経過及び結果】

樹状モデルを活用し、ケースカンファレンスにてA氏の困りごと、満たされないニーズは何かを考えた。A氏の言動からは食事の心配が多く、在宅生活では専業主婦として家庭を守ってきたこと、よくバスを利用して買い物に行っていた情報から、施設でも買い物へ行こうとバス停を探したり、自由に歩けなくなつたことがBPSDの悪化した原因と考え、以前のように歩けるようになることを目指す。

指しアプローチした。まずは膝の痛みを取り除いたことにより歩行状態が安定し、手引き歩行で歩行ができるまでになった。同時期に付き添いを拒否することが見られた。「転倒して、A氏に痛い思いをしてほしくない。」という気持ちから、A氏の自由に歩きたいという気持ちより、スタッフ側の気持ち優先していた。しかし、話し合いの中で「自分も歩いていても転倒はする。A氏の歩きたい気持ちと尊重し、転んでもいいじゃないか。」という意見が出た。その後、家族へ状況を説明し、転倒のリスクは高くなるが自由に歩くことへの承諾を得て、スタッフへも周知しA氏が病棟内を歩行することに対し、自由に歩いているのを見守る意識へと変化した。この変化がA氏のニーズを充実させることになった。





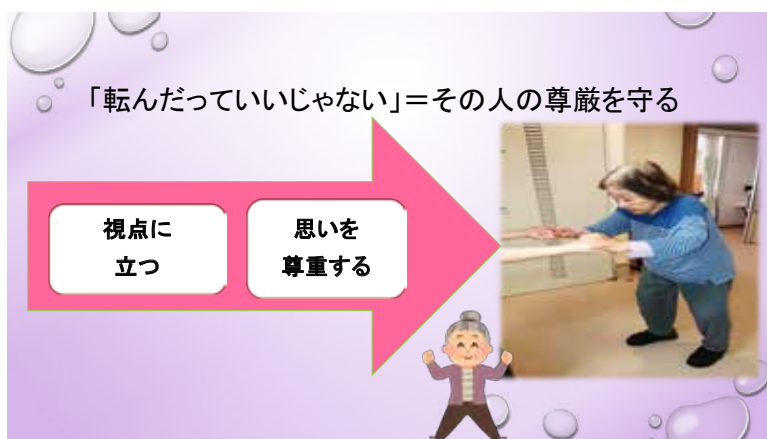
利用者の視点からケアするパーソンセンタードケアを実践し、それでもケアではうまくいかないことが生じたため医師に相談し内服薬の調整を同時に行い薬とケアの連動を行なった事から徐々にA氏のニーズにこたえることができた。現在は、歩きたいときに歩き、自分の思いを尊重してもらえらることで満足し、穏やかな表情で過ごすことができる。



【考察】
樹状モデルを通じ、A氏にとって「歩く」事は子供達に食事を作るための母としての役割であり、今の環境に対する不満であったと考える。今回の取り組みにより「歩きたい」事の心理的ニーズを見つけたことで、家族と共に転倒のリスクを理解し合い、歩く環境を整えA氏の情報（生活歴・性格傾向・社会心理）といった「その人らしさ」



を構成する事を尊重した上でケアを実施した。この事でA氏のニーズが満足したのではないかと考える。
鈴木は、パーソンセンタードケアを行うための3ステップとして①「思いを聞く」②「情報を集める」③「ニーズを見つける」を行う上で最も重要なことに「認知症の人の視点に立つ」ということ「自分だった」と想像してみると述べている。



私たちは、A氏の立場に立ち「その人らしさ」を意識したケアの重要性を学ぶことができた。
これからも固定概念にとらわれずに愛と結の街らしい認知症ケアにチャレンジしていきたい。
〈参考文献〉
・認知症の看護・介護の役立つよくわかるパーソンセンタードケア

研 究 め る

よりよい介護を自さし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

介護施設における職員の熱中症リスクとその業務運営への影響 ～予防と対策の強化に向けた現状把握～

介護老人保健施設 サンセリテのがた（大崎町） 理学療法士 内野 祐輔

【はじめに】

当施設は一般棟 50 床、認知症専門棟 50 床を有し、定員 60 名の通所リハビリも運営している。近年、気温上昇に伴い熱中症は深刻な問題となり、当施設でも 2022 年～24 年に就業中の職員の熱中症事例が 3 件報告された。その結果、急な休業への対応や、離職などにより業務の運営にも支障が生じた。その都度、電解質タブレットや水分補給の推奨、入浴介助中の身体の直接的な保冷目的でアイスベスト支給などの対策を講じたが、場当たり的対応に留まっていなかった疑問が残った。そこで、職員の熱中症に対する理解度を把握するためアンケートを実施した。また、入浴時に使用しているアイスベストの活用状況についても調査を行った。

【方法】

一般棟職員、専門棟職員（看護・介護・リハ）50 名、DC 職員 11 名の計 61 名に対して、無記名自記式アンケートにより調査した。熱中症についての理解度や体験の有無などについては、選択式とし、グラフ化して分析を行った。自由記述式については、テキストデータを質・量的分析できる K H c o d e r（Ver.3）を用いて、クラスター分析にて視覚的に検証した。

【経過及び結果】

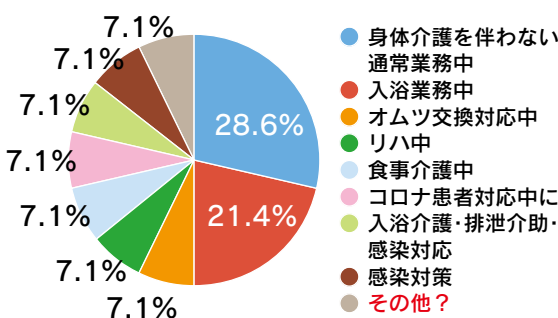
熱中症の理解度としては「詳しく理解している」職員が 60% であった。予防の為に意識していることについては、90% の職員が「水分補給・電解質の補給」、80% の職員が「エアコンなどでの空調機器で調整」60% の職員が「日頃の体調管理」に注意していると答えた。

「業務中に熱中症の症状を体感したことがあるか」との問いには約 20% の職員が体感したことがあると答えた。体感した場面としては、身体介護を伴わない通常業務中（29%）が最も多く、入浴業務中（21・4%）、オムツ交換中（7・1%）と様々な業務の中で症状の体験があることが分かった。また、症状については頭痛が最も多かった。アイスベストについては 61 名中およそ半数の職員が所持しており、効果については「身体を直接冷やすことで楽に感じる」との答えであった。

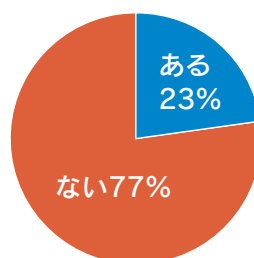
【考察】

今回の調査の結果から、職員の熱中症に関する理解度は比較的高いことが示された。予防策として、水分補給や空調管理を重視し

「ある」と答えた方に質問です。
どのような場面で熱中症様の症状がありましたか？
（14件の回答）



あなたはこの1年間で業務中に熱中症の症状を体感したことがありますか？
（61件の回答）



冷却ベストについて



- ・保冷剤を内蔵したベスト型の冷却具
- ・衣服の上から着用し、体幹部を冷やすことで体温の上昇を抑える
- ・当施設では主に**入浴介助**に従事する職員へ支給
- ・使用時間の目安：約2～3時間（保冷材の持続時間による）
- ・着脱が簡単で、作業中動きやすい構造のため採用

ている職員が多くを占めており、熱中症対策の基本的な知識が浸透していることがうかがえる。

また、業務中に熱中症の症状を体感したことがある職員は約20%であり、特定の業務に限定されず、通常業務を含む様々な場面で症状が発生していることが明らかとなった。

アイスベストの保有率は約半数であり、使用者からは直接的な冷却効果が実感されていることが分かった。これは業務中の熱中症対策として一つの有効性を持つことを示唆している。

【まとめ】

本研究では、職員の熱中症に関する理解度、予防意識、発生状況について調査を行った。今後の対策には、基本的な予防策の徹底、業務環境ごとのリスク評価、効果的な対策の実施が不可欠である。予防策として水分補給や空調管理を徹底し、通常業務中でも高温多湿環境に対するリスク評価が重要となる。具体的には、換気強化、扇風機やスポットクーラーの活用を図るとともに、室温・湿度を常に監視し、作業時間の短縮や短時間交代の導入を検討する。また、アイス

ベストや冷却タオルの使用を通常業務から推奨し、職員の負担軽減を図ることが求められる。対策として、作業前後の健康チェックを徹底し、異変時の迅速な対応体制を整えること、熱中症に関する研修の充実がリスク軽減に寄与すると考えられる。

アンケートを経て導いた4つの改善方針

■ 柱① | “全員に届く” 仕組みづくり キーワード：ルール化・明文化・マニュアル化

- ・対策を業務ルールとして明文化
- ・水分補給や休憩のタイミングを業務内に組み込む
- ・新人・パート職員にも分かるようにマニュアルを整備

■ 柱② | “偏りの是正” と対象の拡大 キーワード：支給対象の見直し・全体化と体調管理

- ・冷却ベストなどを入浴介助以外の職員にも展開
- ・通常業務や非介護職にも発症例があるため、支援対象を限定しない方針へ
- ・職員自身の体調管理（睡眠・栄養・休息）

■ 柱③ | “見える化” と早期対応 キーワード：環境データ・体調申告・温湿度

- ・温湿度計や暑さ指数でリスクを「見える化」
- ・体調申告欄に「暑さによる不調」項目を追加
- ・感覚に頼らず、数値でリスクを共有・判断

■ 柱④ | “意識と行動” を支える教育と共有 キーワード：研修・事例共有・チーム連携

- ・熱中症研修を年1回実施
- ・体験談やヒヤリハットをチームで共有
- ・職員同士で気づき合い、支え合う職場風土を育成

研究める

よりよい介護を目ざし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

施設における車椅子の管理運用

福祉用具業者との連携

介護老人保健施設 青雲荘（始良市）

作業療法士 溝口加奈子
理学療法士 松尾 悟史

【はじめに】

青雲荘では、コスト削減と管理効率化のため、2022年12月よりレンタル車椅子を導入している。レンタルは、①初期費用抑制、②メンテナンス不要、③在庫管理の簡素化などメリットが多い。しかし、福祉用具を選択・導入する際に、数多くの種類の中から利用者の能力を補填できる最適な1台を提供する事は難しい。

そこで、療法師と福祉用具業者がともに利用者評価をする機会を設けた。療法師が姿勢分析や移乗・移動能力の評価を行い、福祉用具業者がそれに見合った福祉用具を選定し、それぞれの専門性を活かして利用者に最適な福祉用具を選定することができるようになった。現在までの取り組み事例を紹介する。

【取り組み期間】

2022・12よりレンタル車椅子導入開始
2024・8 初期費用を抑え、コスト削減効果あり（データ収集による途中経過報告実績あり）
現在に至る。業者と連携し継続中

【事例紹介】

・事例① 座位保持自走型車椅子

取り組み期間

2024・12より2025・1

90代女性 要介護度3

基礎疾患に変形性股関節症があり、もともとは、下肢のエレベーター

調整が可能な標準型車椅子を利用し施設内駆動を行っていた。しかし、食思の低下から栄養状態の悪化、褥瘡発生をきっかけに積極的な離床が行えなくなり、臥

床時間が増える。その結果、座位の耐久性が低下し、リクライニング車椅子使用開始。その後、様々な自走型のリクライニング車椅子を試みるも本人に合わず、安全は取れたが本人の意思である自走が行えなくなってしまう。そこで、福祉用具業者を交えた協議の結果、座位保持自走型車椅子「らくりお」に

オプション調整をし、再び短距離からの自走支援が可能となり、「行きたいところに向かう事ができる」を叶える事ができた。

・事例② 自動ブレーキ付き車椅子

取り組み期間

2023・7より8

90代女性 要介護度1

施設内駆動は足こぎ駆動にて自立の方。認知機能面の低下によりブレーキ習得が難しく、動作も早



座位保持自走型車椅子「らくりお」

く、居室内では見守りセンサーの対象者となっていました。スイングアーム介助バーを使用し移乗動作を行っていたが、スタッフが毎回ブレーキの声掛け促しをしている状態。福祉用具業者と協議の結果、自動ブレーキ付き車椅子を提案していただき、結果的に施設内移動だけでなく移乗動作も獲得し、自立となる。



福祉用具業者と専門職によるカンファレンス風景



自動ブレーキ付き車いす Gra-fit

【福祉用具とは】

福祉用具とは、本来心身の機能が低下し日常生活を営むのに支障のある方が、日常生活上の便宜を図るための用具、及び機能訓練の

ための用具並びに補装具の事を指す。しかし、私たち療法士は、身体機能面に重点を置きがちである。実生活では、機能面だけではなく、福祉用具と環境の適合が重要であり、安全に、負担なく、そして長く使用できる最適な福祉用具を提供する事が大切だと考える。

【今後の展望】

青雲荘では、車椅子レンタルの運営にPDCAサイクルを活用し、常に効果判定を行っている。月1回のカンファレンスだけではなく、レンタル開始後も、必要に応じて適宜評価を行う事の重要性を今回の取り組みの中で理解できた。今後の展望としては、介護でお困りの利用者・家族に対して、青雲荘に入所すると、機能面の維持・向上だけではなく、「移乗・移動が楽にできるようなった」と実感していただけるような福祉用具の提案を行い、在宅支援までシームレスに連携していきたいと考える。

協会だより

●令和7年度第2回在宅ケア・支援相談部会

開催日：令和7年12月9日(火)14:00～16:00

場所：鹿児島県医師会館3F中ホール

テーマ：「カスタマーハラスメント研修

～心と安全を守るための理解と対処～

講師：(株)ツクイスタッフ 川上 百合 先生

●令和7年度第2回事務部会

開催日：令和7年12月19日(金)14:00～16:00

場所：鹿児島県医師会館3F中ホール及び

Zoomによる配信等

テーマ：「デイケアの稼働率向上の秘訣」

講師：株式会社船井総合研究所 古賀 啓佑 先生

●令和7年度第1回看護・介護部会

開催日：令和8年2月9日(月)14:00～16:00

場所：鹿児島県医師会館3F中ホール及び

Zoomによる配信等(予定)

テーマ：「終末期ケアについて」(仮題)

講師：鹿児島大学医学部保健学科 清水 作智子先生

●第30回 鹿児島県老人保健施設大会

開催日：令和8年2月17日(火)～18日(水)

場所：鹿児島県医師会館(3F・4F)

テーマ：かごんま老健万博

～四半世紀を超えて、老健の未来へ～

【ご参考】

●第25回九州ブロック介護老人保健施設大会 in 長崎

開催日：令和8年7月16日(木)～17日(金)

会場：出島メッセ長崎

テーマ：みんなにとってのあたりまえ

カステラ ちゃんぽん 老健



(※) 本号編集時点の情報です。やむを得ず変更する場合があります。詳細が確定次第あらためてファックスで会員施設へご案内します。

令和7年度 研修会

令和7年度第1回在宅ケア・支援相談部会

日 時：令和7年9月18日（木）14：00～16：00

会 場：鹿児島県医師会館3階中ホール

テーマ

「支える側が支えられるとき～認知症の母が教えてくれたこと～」

講 師：藤川 幸之助 先生 （詩人・児童文学作家）

【アンケート結果】 参加施設 19施設 29名

○ 評価

- ・非常に良かった 27名
- ・良かった 2名

○ 理解

- ・よく理解できた 25名
- ・どちらかと言えば理解できた 4名

○ 今後、改善したほうが良いと思う項目

時間帯

- ・時間が足りなかった もっと話を聞きたかった
- ・たくさん参加したいとの声はありましたが、勤務時間内だと調整が難しい
- ・施設のスタッフに聞いてほしいと思いました

開催場所

- ・鹿児島市内が多いと遠い

その他

- ・集中できる内容だったので気にはなりませんでしたが、5分程度の休憩はあってもいいかと思いました。

○ 改善して欲しい理由

- ・特になし

○ 次回はどのような研修会を希望しますか

- ・排泄 ・看取り ・在宅介護
- ・LIFE 関連 ・認知症 心のケア
- ・職種間、地域間での意見交換や認知症ケア・看取りケアについて幅広い分野での研修を希望します
- ・ChatGPT のような生成 AI の活用ガイド 伊本貴士氏（株）メディアスケッチなどの方々に介護分野での活用について

○ 今回の研修の感想

- ・音楽の流れる研修、意義深かったです
- ・久しぶりの対面研修に参加できてよかったです
- ・また、藤川先生のお話を聞く機会があれば参加したいです
- ・できるなら違ったテーマで藤川先生のお話を聞きたいと思いました
- ・いろいろ考えさせられる講演でした。持ち帰り役に立てたいと感じました
- ・老人ホームに入られた後の家族心理等もっと聞きたかったです

今回は、藤川先生が20数年の介護の経験をもとに作られた詩の朗読を交えながら、講演してくださいました。お話の場面場面を自分のことに置き換えてみると、仕事でも私生活でも考えさせられることが多く、貴重な時間だったと思います。皆さんも是非、藤川先生の詩集を手に取り読んで見られてはいかがでしょうか。

介護老人保健施設城山老健 看護主任 塩田 明美



令和7年度第1回事務部会

日 時：令和7年10月6日（月）

会 場：鹿児島県医師会館3階中ホール

テーマ

「医療福祉における接遇について」

講 師：中蘭 浜子 先生（医療福祉接遇インストラクター）

【アンケート結果】 参加施設 9施設 9名

○ 評価

・非常に良かった 6名 ・良かった 2名 ・普通 1名

○ 理解

・よく理解できた 7名 ・どちらかといえば理解できた 1名 ・普通 1名

○ 今後、改善したほうが良いと思う項目

・時間帯 2名 ・無回答 6名 ・YouTube 1名

○ 改善してほしい理由：特になし3名・無回答4名

・就業時間中や保険請求期間中の参加はなかなか難しい。
・ZOOMの接続がうまくいかなかったのか時間になっても始まらず、YouTubeにて受講しました。40分以上たつたくらいでようやくZOOMが立ち上がりました。YouTubeの配信があつて非常に助かりました。

○ 次はどのような研修会を希望しますか（テーマ・内容・講師等）：特になし1名・無回答5名

・認知症の方への声掛け。
・生産性向上への取組について（介護ロボット導入関係ではないもの）
・面会時間など決められているのですが、それを無視して守っていただけないご家族様がいらっしゃいます。その時の対応に困ったりします。適切な対応の仕方などの研修を希望します。

○ 本日の講師や、研修の内容について感想をお書きください

・各職種における技術や知識が上がってくる中で、対応の仕方が初期の頃にあった丁寧さが失われていきやすい。親近感と馴れなれしさの線引きが出来ていないという状態が多々ある為、声掛けやアナウンスをしていけたらと感じた。窓口や電話対応等、施設の第一印象を担う部署にいるため、言葉使いはもちろん表情等もここがけなければならぬと再確認できた。
・大変わかりやすかったです。初心に戻り、声掛け等注意しながらケアの実施をしていきたいと思ひます。
・なかなか接遇面の改善が難しく、大変参考になりました。少しでもフィードバックできるよう取り組んでいきたいと思ひます。
・分かりやすく理解しやすい内容の研修だと思ひました。
・接遇について他職員にも勉強となる良い内容でした。
・改めて、接遇について学び、再確認することが出来ました。ソーシャルスタイルなど、初めて聞くものもあり楽しく拝聴することが出来ました。どうしても職員で接遇の良し悪しは出てしまい、先生が言われたように経験の長い職員ほど崩れてしまう傾向にもありますが、希望の持てる研修でした。YouTubeのアーカイブ配信に感謝致します。
・今後の現場での対応に生かせる内容がほとんどでした。相手の心を大切にしたい接し方を心掛け研修会で学んだことを職場で活かしていきたいと思ひます。
・中蘭先生の話し方や声のトーンが素晴らしく、とても聞きやすく今後の対応に活かせる研修でした。ソーシャルスタイルの判定はとても興味深く、タイトル別に対応の仕方を変えるテクニックも仕事だけではなく、プライベートにも応用できることが多かったので、コミュニケーションの参考にしていきたいです。
・中蘭先生の話し方・トーン・スピードなど非常に聞き取りやすく、講習も分かりやすかったです。理解が深まりました。講習の直後から意識して仕事に臨める内容で、勉強になりました。

○ 集計内容について

・9施設より回答頂きました。評価としては、良かった、たいへん良かったというのが多数でした。
・改善した方が良いと思う項目で、時間帯や保険請求時期と重なるとの意見もいただきました。
・次回の研修希望としては、「ご家族への対応」、「認知症の方への声掛け」、「生産性向上への取組について」ということでした。
・9施設より感想を頂きました。まずどの施設も中蘭先生の説明がとてもわかりやすく勉強になったという感想でした。そしてすぐにでも活かせる内容で、初心に戻り改善していきたいという前向きな意見が多かったようです。

高原ナーシングホーム 事務長 小迫 春一

ぶらぶらが素敵 かごしま

vol.22

東川 隆太郎

NPO法人まちづくり地域フォーラム・
かごしま探検の会代表理事



島 ● 大きなガジュマル



セリ岬

南北600キロに及ぶ鹿児島県。気候や風土、文化に歴史にもそれぞれの地域に特徴があり、県内をめぐらなくても相当な発見があります。そのような鹿児島県の意外な魅力を様々な角度から訪ねてみる連載です。

中之島を訪ねて②

島の東側まで 足を延ばして

島にある十島村役場支所横に「汽船も亦道路なり」と刻まれた記念碑がある。これは十島村村長をしていた文園彰にちなんだ石碑である。離島である十島村は、船が本土など行き来する唯一の手段。そのために航路の安定は非常に重要で、島民のいのちをつなぐものでもあった。

そのために汽船の航行は、まさに道路と同じであると国に航路整備を訴えたのが文園であった。そして昭和8(1933)年に第一とし丸を就航させ、定期便を開設させた。その尽力をたたえた記念碑である。ちなみ文園は喜界島の出身で、この記念碑は、港に入り出ていくフェリーを眺められる場所にある。

さて、中之島はトカラ列島で最も面積が広いだけに、島内の西側から東側に移動するにも高尾盆地と呼ばれる高地を越えなくてはならず、時間を有する。またこの盆地にはトカラ馬が放牧されている。鹿児島県の天然記念物にも指定されており、小型の在来種で明治30年ごろに喜界島から宝島に移入したのが始まりとされている。現在はこの島で飼育されていて、御岳を正面に望む平坦な地でのびのびと暮らしている。



七ツ山海岸



底なし池



トカラ馬



汽船就航記念碑



ヤルセ灯台



海岸からの口之島



坂途中からの御岳

高尾高地をぬけると御池がある。この池は底なし池と呼ばれているが、しっかりと底はある。周辺が鬱蒼とした森に囲まれていて、しかも高台にある池ということで神秘的な雰囲気があることから、底なしという不思議な呼び名につながったといえよう。

島の東側には七ツ山海岸がある。コバルトブルーの海がまぶしい海岸で、ここから望む御岳も見事である。また隣の口之島も望むことができ、砂浜ではなく玉石の連続する海岸である。

その海岸を望んだ後に、さらに南下するとヤルセ灯台がある。島では南東に位置し、灯台の白と島の木々の緑、空と海の青が重なりと非常に美しい写真が撮れる絶景である。その先には、セリ岬という浸食地形が楽しめる場所がある。海岸部に一本槍のようにそそり立つ岩場で、のぞき込むだけでドキドキしてしまう。

とにかく、絶景が楽しめ、離島ならではの歴史や文化にも触れることができる中之島。おすすめの島である。でも島内移動を気軽に徒歩で行うのは難しいのでご注意を。

(ひがしかわ・りゅうたろう) 1972年、鹿児島市生まれ。鹿児島大学理学部地学科卒業。自他共に認める「まち歩き」のプロ。ガイドや講演会活動を通じて鹿児島の魅力を伝える活動をしている。

こぼれおちた

ものもの

46

三角 みづ紀



神宮の広すぎる敷地内を急いで歩き、御手洗池のすぐ隣にある茶屋で団子とコーヒーを注文する。澄んだ池を鯉が泳ぐ。荘厳な森で集合時間を気にしながら、わたしたちはおしゃべりをしていた。みたらし団子は醤油ではなく味噌だれの味だった。

小学生のときからずっと親しくしている友人と、東国三社をめぐるバスツアーに参加しようとしたのは、昨年の夏くらいの話。十代のころの友人たちとは物理的な距離があつて、徐々に疎遠になつていった。

でも彼女は違う。ふたりとも高校卒業まで水上坂にある実家に住んでいたこと、小学校も中学校も一緒に歩いて向かつていたこと、上京したタイミングが同じだったことがあつて、気づけば出会ってから三十年以上が経過していたのだった。

茨城県にある鹿島神宮と息栖神社、千葉県にある香取神宮をめぐ

わたしたちの引き出し



る東京駅発のバスツアー。コーヒーとお菓子を持つて乗車し、会話はやまない。お互いに結婚をした。わたしは札幌へ移住もした。

それなのに彼女と疎遠になることはなく、年を追うごとに親しくなつて、年に二回ほどはこうやって会っている。やまない会話の内容容は、あちらこちらへ漂い、時間

の流れも関係なく往来する。六月灯について、常盤町の日枝神社について。

おごそかな境内を進みつつ、言葉が放たれては漂つていく。しゃぼん玉みたいに儚くて、記憶に焼きつく。

バスツアーはあんがい忙しくて、最後に訪れた鹿島神宮では時間が足りずに駆け足だった。それにもかかわらず、要石の場所には辿りつけなかった。

ふたりが揃うと、まずはおしゃべりをして、おいしいものを探す。参拝のご利益も重要だが、一緒の間を過ごしている事実がなにより大切だった。

幼少期より友達であるつて、ふしぎだ。大人になつたら共通の趣味や仕事があるうえで、友情を育んでいく。しかし小学生のときは、同じ教室にいるということが理由になる。成長すると趣味や仕事の違いが明確になるのに、そんなことは障壁にならず、わたしたちはいくつになつても、こうやって急ぎ足でおいしいものを探している。

「泡沫」
時間がゆらりと浮かんで記憶もゆらりと浮かんだわたしたちの引き出しはいつも整然としてなくて

宝探しみたいに取りだしひかる感情は発光しつつ自由な角度で並んでいる

めいめいに家族への土産も買い求めながら、こんなふうになでいるあいだに年をとつて、いつか死ぬのだなと思う。みたらし団子のたれが指先と口のまわりを染める。ウェットティッシュを取りだして拭う。

このバスツアーには二十六人が参加している。それぞれに家族がいて、仕事がある。別の生活を歩んでいるという点においては、彼女とわたしも同じ。けれど、こんなにたくさんひととびとのなかで友達になつて、関係が続いていくつて妙な心地だ。

二礼、二拍手、一礼。手を合わせている最中にもしゃぼん玉が飛んで、ぱちんとはじける。三社で引いたおみくじは大吉と末吉と吉で、ゆつくり読もうと財布にしのばせる。

帰路の渋滞した高速道路から東京タワーとスカイツリーが見える。未来は見えないが、いまの現在地はここだ。

三角みづ紀(みすみ・みづき) 1981年鹿児島市生まれ。東京造形大学視覚伝達学科在学中に現代詩手帖賞、第1詩集で中原中也賞を受賞。第2詩集で南日本文学賞、歴程新鋭賞受賞。著書多数。執筆のほか朗読活動も精力的に行い、国内外の詩祭に招致される。近年は美術作品として詩を制作する等、あらゆる表現を現代詩として発信している。第22回(平成26年度)萩原明太郎賞受賞。



- ①花柄があしらわれた「あらさのオートバイ神社」の鳥居
- ②あらさのオートバイ神社が併設された照日神社の本殿
- ③「MOTORCYCLE JINJA 54 あらさの」と書かれたワッペンも販売
- ④照日神社のある展望台からの眺めは抜群
- ⑤照日神社沿いの道路ではオートバイ神社ののぼり旗がはためく
- ⑥オートバイ神社の近くにある道の駅「野方あらさの」。コンビニも併設されている

「あらさのオートバイ神社」(大崎町野方)

ふろしゅ「フォーカス」

「オートバイ神社」の文字が入ったピンクや紫色ののぼり旗がはためき、鮮やかな花が描かれた小ぶりの鳥居が目をはきく。「オートバイ神社あらさの」は、大崎町野方の照日(てるひ)神社内にあった。

オートバイ神社とは宗教施設ではなく、ツーリングを楽しむバイク愛好家が立ち寄る拠点として、AMAC(一般社団法人日本二輪車文化協会)が認定。ラ

「MOTORCYCLE JINJA54 あらさの」と文字が入った記念ステッカーが販売され、バイクは持っていないのについ買い求めてしまった。ちなみに隣接する「物産館あらさの」では昼食時にそばなどが食べられ、腹ごしらえもできる。

そしてオートバイ神社を訪れたら、照日神社もお参りしたい。徒歩で階段を上るが、境内近くまで車で行くことも可能。約3

地域盛り上げる拠点に

ライダーたちが集う「聖地」となることで地域活性化が期待されている。「あらさの」は地元有志が発案し、昨年夏、県内4カ所目のオートバイ神社として誕生した。全国では54番目となる。

すでに多くのライダーが訪れており、境内に置かれたノートには「オートバイ神社第54号おめでとう!」「久々に通るとオートバイ神社になつていてびっくり」の言葉が並ぶ。中には「もう少しバイクにお世話になりたいので祈願に参りました。すべてのみなさんの安全を祈ります」という80代女性も。

〇〇年前、大阪から荒佐野住民が移住する際に建立された歴史を持ち、地域の子どもたちが継承する神舞を奉納する春祭りでも知られる。

すぐ近く展望台もあり、遠くの山々や街並みをながめて気分リフレッシュ。

あらさのオートバイ神社から、東九州自動車道の野方インターチェンジ(IC)までは目と鼻の先。「オートバイ神社あらさの」が自然や食が魅力的な大隅半島の入り口となり、地域を盛り上げてくれることを期待したい。

(編集委員・米森)



千葉しのぶさん

冬編

かごしまの食卓

ちばしのぶ NPO法人霧島食育研究会理事長、管理栄養士・フードコーディネーター。
「霧島・食の文化祭」「かごしま郷土料理マイスター講座」などを主宰する。
2020年千葉しのぶ鹿児島食文化スタジオを設立。著書に「はじめての郷土料理」(燦燦舎)など。



七草かゆ(七所のずし)

1月7日は「上巳の節句」。「春の七草」が入った粥(かゆ)を食べると、1年間、無病息災で過ごせると言われています。春の七草とは、せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ。鹿児島では七草だけでなく、春菊、里芋、豆もやし、かまぼこなど加えて彩りのよい粥を作る家庭が多いようです。「七所(ななとこい)のずし」ともいい、これをもらうために、晴れ着を着た数え年7歳の子どもが親に付き添われ、近所・親戚7軒を回る風習もあります。

レシピ
4人分

- 米 1合 ●水 5カップ(1ℓ)
- 春菊やセリ 50㌔ ●人参 50㌔ ●大根 50㌔
- 豆もやし 50㌔ ●里芋 50㌔ ●かまぼこ 20㌔
- 餅 2個 ●塩 小さじ 1/2

- ①米を洗い深鍋に入れ、分量の水に30分以上つける。
- ②人参、大根は1㌔角の薄切り、豆もやしは1㌔長さ、里芋・かまぼこは5ミリの厚さのいちよう切りにする。
- ③①に②を加え、ふたをし強火にかける。煮立ったらごく弱火にして吹きこぼれないように40分程度炊く。
- ④③に1㌔角に切ったもちを加え、もちが柔らかくなったら、1㌔長さに切った春菊やセリを加え、火からおろし塩を加える。



煮立ったら、吹きこぼれないようにごく弱火で 40分ほど炊きましょう。

ぜんざい



小豆はゆでた後で、砂糖を加え、さらに冷まして味を含ませます。

1月11日は鏡開き。お正月の間は鏡餅に年神様の魂が宿っているとされるため、この日鏡餅を食べることでその力を授けてもらい、1年の家族の無病息災を願います。餅は刃物で「切る」ことはせず、手か木づちなどで割って使います。しかし「割る」という言葉は縁起が良くないので、末広がりを意味する「開く」を使って「鏡開き」と言うようになったそうです。ぜんざいの小豆にも厄よけの意味合いがあります。塩を少し加えると甘みが引き立ちます。

レシピ
4、5人分

- 小豆 150㌔ ●砂糖 150㌔
- 塩 少々 ●餅 4、5個

- ①小豆は洗い、鍋に入れ、3カップ(600cc)の水を加えて強火にかけ、煮たったらザルにあけ、ゆで汁を捨てる。
- ②①に再度3カップの水を加えて強火にかけ、煮たったら小豆が踊らない程度の弱火にする。鍋のふたを少しずらしてかけ、アクを取りながら約40～50分煮る。途中小豆がゆで汁からでてくるようであれば水を足し、指で小豆が簡単につぶれるくらいまで柔らかく煮る。(小豆が柔らかくなった時の煮汁は小豆のヒタヒタになるくらいがよいので、多い場合はすくい取る)
- ③ ②に砂糖、塩を加えて弱火で5分ほど煮て火を止め冷まして味を含ませる。
- ④ ④に水1カップを加え、火にかけあたため、焼いた餅と共に椀に入れる。

介護用品 あれこれ

介護用品あれこれ

～『自助具工房』開設のお知らせ～

(株)カクイックスウィング 作業療法士、福祉用具プランナー管理指導者 湯脇 稔

はじめに

手前味噌で恐縮ですが、今回は私が所属しておりますカクイックスウィングの中央営業所に新たに開設しました『自助具工房』を紹介させていただきます。

* 中央営業所住所：鹿児島市加治屋町 3-1 TEL：099-226-0923

○自助具とは

自助具は、障害や病気、加齢などによって日常生活動作（食事、更衣、入浴、整容など）が困難になった場合に、ご本人が自立した生活を送れるように、特別に工夫・作製された道具のことです。これらを使うことで、今まで人に頼っていたことが自分でできるようになり、精神的にも自信が高まる効果が期待できます。

○カクイックスウィング自助具工房の特徴

ご本人の症状や状態に合わせて、専門の作業療法士が自助具の選定から市販品の改良、オーダーメイドまで個別に作製いたします。

また、スプリント（手や指の装具）の作製も行っており、症状の緩和や痛みの除痛により、日常生活の向上・改善を支援してまいります。

○自助具工房管理者の紹介

自助具工房管理者紹介：松元義彦（まつもとよしひこ）

九州リハビリテーション大学卒業後、
39年間にわたって鹿児島赤十字病院に勤務
関節リウマチや手外科などの整形外科疾患
のリハビリテーションを中心に従事
8000件を超える自助具・スプリントを製作
2025年4月(株)カクイックスウィング入社

作業療法士

・認定作業療法士
・専門作業療法士～福祉用具～

福祉住環境コーディネーター（2級）
福祉用具プランナー
日本リウマチ財団 登録作業療法士



○おわりに

皆さま方の施設へ出向いての説明や作製も行っておりますので気軽にご相談ください。

あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所



⑦ろうけん始良

〒899-5652 始良市平松5062
☎0995-65-8091 FAX 0995-67-1474

希望ヶ丘病院
居宅介護支援事業所ろうけん始良
訪問介護事業所ろうけん始良



⑧青雲荘

〒899-5431 始良市西餅田3024番地1
☎0995-65-8181 FAX 0995-64-5255

青雲会病院
居宅介護支援事業所青雲



⑨アメニティ国分

〒899-4301 霧島市国分重久361-1
☎0995-64-0666 FAX 0995-45-4515

鶴木医院(指定介護療養型医療施設)
うのきデイサービス(認知症専用)
ヘルパーステーションアメニティ国分

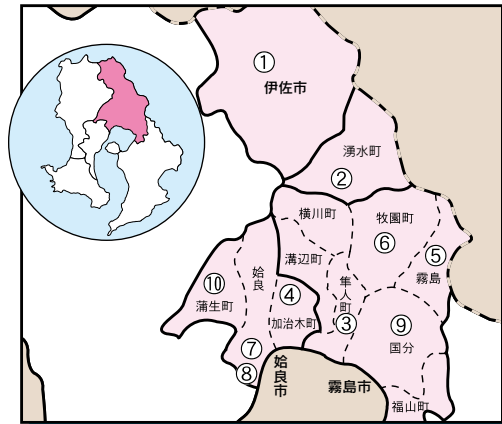


⑩ろうけん大楠

〒899-5304 始良市蒲生町下久徳1249-1
☎0995-54-3333 FAX 0995-54-3338

ろうけん大楠グループホーム「たんぼほ」
ろうけん大楠居宅介護支援事業所
大楠苑(特別養護老人ホーム)

伊佐・始良地区



①はやひと

〒895-2504 伊佐市大口青木3022-33
☎0995-22-8000 FAX 0995-22-4868

大口温泉リハビリテーション病院
ことぶき園(特別養護老人ホーム)
グリーンハイツ周山(ケアハウス)



②寿芳苑

〒899-6202 始良郡湧水町北方1857
☎0995-74-3300 FAX 0995-54-1236

あいらの森ホスピタル
グリーン光芳(特別養護老人ホーム)
グループホーム愛の里



③希望の里

〒899-5111 霧島市隼人町姫城2-157
☎0995-43-1600 FAX 0995-43-2359

隼人温泉病院(療養型病床あり)
訪問看護ステーション姫城
グループホーム「ゆうゆう」



④シルバータウン加治木

〒899-5241 始良市加治木町木田4719-1
☎0995-62-5755 FAX 0995-62-5756

加治木温泉病院
加治木望岳園(特別養護老人ホーム)
龍門の里(軽費老人ホームA型)



⑤きりしま

〒899-4201 霧島市霧島田口2115-1
☎0995-57-3410 FAX 0995-57-3415

霧島杉安病院
訪問看護ステーションあんしん
グループホームゆめ

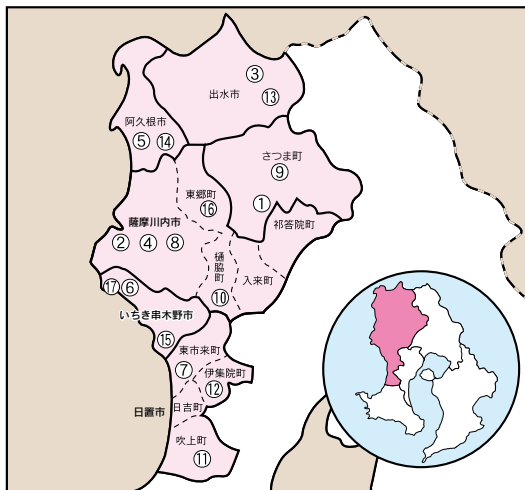


⑥サンライトホーム

〒899-6603 霧島市牧園町高千穂3617
☎0995-78-3811 FAX 0995-78-3387

霧島桜ヶ丘病院
霧島青葉園(身体障害者療護施設)
霧島青寿園(介護老人福祉施設)

日置・川薩・北薩地区



①クオリエ

〒895-1804 薩摩郡さつま町船木2311-8
☎0996-52-1100 FAX 0996-52-1134

クオリアリハビリテーション病院
訪問看護・リハクオラU
グループホームアリエ



②あじさい苑

〒895-0023 薩摩川内市横馬場町8-11
☎0996-23-6000 FAX 0996-23-6373

薩摩川内市在宅介護支援センターあじさい
きららクリニック
グループホームそら



⑫アンダンテ伊集院

〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺3-1303-10
☎099-272-5181 FAX 099-272-5999

湯田内科病院
ケアセンターリエゾン日置
(居宅介護支援事業・訪問介護事業)



⑬ラ・フォンテいずみ

〒899-0214 出水市五万石町281
☎0996-62-7005 FAX 0996-62-7008

しもそのクリニック
ラ・フォンテいずみ居宅介護支援事業所



⑭グリーンフォレストみかさ

〒899-1131 阿久根市脇本字柞木迫6313-1
☎0996-75-3222 FAX 0996-75-3238

黒木胃腸科外科医院
グリーンフォレストみかさ訪問看護ステーション
阿久根市在宅介護支援センターみかさ



⑮ライフハーバーいちき

〒899-2103 いちき串木野市大里2901-2
☎0996-36-5353 FAX 0996-36-5352

丸田病院
吹上園・市来松寿園
市来町在宅介護支援センター



⑯グレースホーム

〒895-1106 薩摩川内市東郷町斧淵8920番地
☎0996-21-6311 FAX 0996-21-6313

上村病院
グレースホーム訪問看護ステーション
グレースホーム居宅介護支援事業所



⑰ゆくさ白浜

〒896-0064 いちき串木野市羽島265-15
☎0996-35-0800 FAX 0996-31-0070

えんでん内科クリニック
(居宅介護支援事業・訪問介護事業)
グループホームもぜ

鹿児島地区



①城山老健

〒890-0014 鹿児島市草牟田1-4-10
☎099-225-3582 FAX 099-224-4096

植村病院
ケアハウス出合い坂
居宅介護支援・訪問介護センター草牟田出合い坂



②スイートケアなかよし

〒890-0005 鹿児島市下伊敷1-1-5
☎099-223-3390 FAX 099-223-6957

玉水会病院
いしき訪問看護ステーション

③城西ナーシングホーム

〒890-0046 鹿児島市西田1-16-1
☎099-258-9180 FAX 099-257-5712

土橋病院
居宅支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
デイサービスセンター ケアガーデン西田



③ニューライフいずみ

〒899-0217 出水市平和町336-1
☎0996-63-8000 FAX 0996-63-3161

吉井整形外科内科中央病院
ユニット型老健グランアージュ
鶴寿園(特別養護老人ホーム)



④長生園ナーシングセンター

〒895-0076 薩摩川内市大小路町51-3
☎0996-22-1121 FAX 0996-22-1120

永井病院
在宅介護支援センター 長生園
グループホーム 自立の家



⑤回生苑

〒899-1611 阿久根市赤瀬川551
☎0996-72-1661 FAX 0996-73-3788

内山病院
阿久根市在宅介護支援センター
桜ヶ丘荘(特別養護老人ホーム)



⑥さるびあ苑

〒896-0002 いちき串木野市春日町63
☎0996-32-8841 FAX 0996-32-8873

宮之原循環器内科
串木野市在宅介護支援センター
慈正会居宅介護支援事業所



⑦シルバーセンター光の里

〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1丁目1-6
☎099-273-5600 FAX 099-273-5700

前原総合医療病院
グループホーム あったかハウス
訪問看護ゆの里・訪問介護ふる里



⑧グリーンライフ川内

〒895-0065 薩摩川内市宮内町磯田2633
☎0996-20-2500 FAX 0996-20-2570

今村クリニック(整形外科)
薩摩川内市在宅介護支援センター
薩摩川内市ホームヘルパー事業(老人と障害者)



⑨パラディーノはたるの里

〒895-2104 薩摩郡さつま町柏原493-5
☎0996-53-1010 FAX 0996-53-1007

立志病院
鶴田町在宅介護支援センター
居宅介護支援事業所 パラディーノはたるの里



⑩グラン・ベリテわき

〒895-1203 薩摩川内市樋脇町市比野2995
☎0996-38-2500 FAX 0996-38-2600

市比野記念病院
翠泉苑(特別養護老人ホーム)
指月苑(養護老人ホーム)

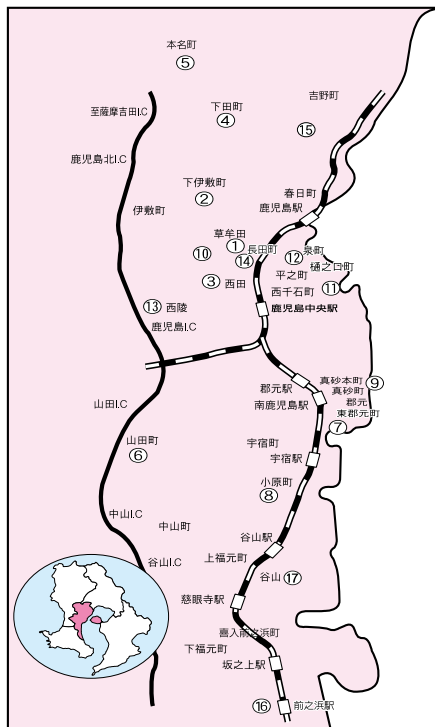


⑪湯の浦ナーシングホーム

〒899-3303 日置市吹上町湯之浦1353
☎099-296-5411 FAX 099-296-5422

外科 馬場病院
居宅介護支援事業所
(湯の浦ナーシングホーム・馬場病院)

あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所



④さくらんぼ

〒892-0873 鹿児島市下田町1759
☎099-244-8811 FAX 099-244-8700

鹿児島市在宅介護支援センターさくらんぼ
ヘルパーステーションさくらんぼ
居宅介護支援事業所さくらんぼ



⑤吉田ナーシングホーム

〒891-1304 鹿児島市本名町472
☎099-294-4561 FAX 099-294-4562

ケアプランセンター木蓮
ヘルパーステーション ゆうばえ



⑥フレンドホーム

〒891-0104 鹿児島市山田町450
☎099-260-6000 FAX 099-268-1540

Tsukasa Health Care Hospital



⑦鴨池慈風苑

〒890-0068 鹿児島市東郡元町11-6
☎099-252-8291 FAX 099-252-5526

厚地脳神経外科病院
厚地リハビリテーション病院
在宅介護支援センター鴨池慈風苑



⑧愛と結の街

〒891-0111 鹿児島市小原町8-3
☎099-260-6060 FAX 099-284-5689

居宅介護支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
谷山病院
いづろ今村病院・今村総合病院



⑨ひまわり

〒890-0067 鹿児島市真砂本町3-81
☎099-285-2211 FAX 099-258-7971

大勝病院
訪問看護ステーション真砂本町
介護相談センター真砂本町



⑩まろにえ

〒890-0014 鹿児島市草牟田2-26-45
☎099-226-3270 FAX 099-226-3271

米盛病院
マロニエ訪問看護ステーション「護国」
整形外科米盛病院居宅介護支援事業所



⑪西千石

〒892-0847 鹿児島市西千石町8-13
☎099-223-3300 FAX 099-223-3560

日高病院
介護相談センター西千石
ヘルパーステーション西千石



⑫あさひ

〒892-0822 鹿児島市泉町8-2
☎099-225-8660 FAX 099-225-8601

中央病院
桜島病院
桜島苑(特別養護老人ホーム)



⑬ナーシングホーム田上苑

〒890-0032 鹿児島市西陵6-21-18
☎099-283-0120 FAX 099-283-0517

みらいリハビリテーション病院
居宅介護支援事業所はるかぜ
クレセル天保山(介護付有料老人ホーム)



⑭ナーシングホーム城山の森

〒892-0854 鹿児島市長田町223
☎099-219-1122 FAX 099-219-1123

中村(哲)産婦人科・内科
博悠会温泉病院
特別養護老人ホーム城山苑



⑮ろうけん青空

〒892-0871 鹿児島市吉野町6040番地7
☎0570-00-4330 FAX 099-243-5599

明輝会クリニック
グループホーム帯迫&ひばり
小規模多機能ホームひばり



⑯サンシャインきいれ

〒891-0205 鹿児島市喜入前之浜町7808-1
☎0993-43-1176 FAX 0993-43-1186

特別養護老人ホーム喜入の里
新田クリニック
小規模多機能 前之浜



⑰光徳苑

〒891-0141 鹿児島市谷山中央2-4515
☎099-260-9777 FAX 099-260-5093



⑦おさしお

〒893-1103 鹿屋市吾平町麓3766-1
☎0994-58-5858 FAX 0994-58-5501

グループホームきらら
長崎内科
陵幸園(特別養護老人ホーム)



⑧ハーモニーガーデン

〒893-0014 鹿屋市寿4-1-43
☎0994-41-7800 FAX 0994-41-7802

平和台病院
介護保険相談センターハーモニーガーデン



⑨コスモス苑

〒891-2124 垂水市錦江町1-140
☎0994-32-5200 FAX 0994-32-5280

垂水市立医療センター、垂水中央病院
垂水市立在宅介護支援センターコスモス苑
居宅介護支援事業所コスモス苑



⑩みなみかぜ

〒893-2301 肝属郡錦江町神川88-1
☎0994-22-3100 FAX 0994-22-3105

肝属郡医師会立病院
居宅介護支援事業所みなみかぜ



⑪サンセリテのがた

〒899-8313 曾於郡大崎町野方6047-3
☎0994-71-0088 FAX 0994-78-3201

はるびゅうクリニック
居宅介護支援事業所サンセリテのがた
介護付き有料老人ホームエコルたちお野



⑫ありあけ苑

〒899-7402 志布志市有明町野井倉8288-1
☎099-477-2331 FAX 099-477-2335

曾於医師会立訪問看護ステーション
曾於医師会立居宅介護支援事業所



⑬絆

〒891-2104 垂水市田神3536番地1
☎0994-32-6161 FAX 0994-32-6163

池田温泉クリニック
グループホームひまわり苑
小規模多機能ホームひまわりの里

南薩地区



①指宿温泉菜の花苑

〒891-0402 指宿市十町418-1
☎0993-24-3255 FAX 0993-22-3239

今林整形外科病院
明正会介護支援ネットワーク菜の花
(居宅介護支援事業所)

曾於・肝属地区



①高原ナーシングホーム

〒899-8602 曾於市末吉町栄町2-11-1
☎0986-76-1170 FAX 0986-76-6530

高原病院
末吉町在宅介護支援センター
末吉訪問看護ステーション



②ナーシングホームひだまり

〒893-0024 鹿屋市下祇川町1853
☎0994-41-1200 FAX 0994-41-1727

鹿屋訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所ひだまり



③ケアセンターやごろう苑

〒899-8102 曾於市大隅町岩川5515
☎0994-82-5963 FAX 0994-82-5964

昭南病院
大隅地域訪問看護ステーション



④老春苑

〒893-1207 肝属郡肝付町新富525
☎0994-65-1500 FAX 0994-65-1160

春陽会中央病院
高山町在宅介護支援センター
訪問看護ステーションたんぼぼ



⑤ヴィラかのや

〒893-0014 鹿屋市寿8-21-2
☎0994-44-0021 FAX 0994-44-1226

恒心会おぐら病院
居宅介護支援事業所ヴィラかのや
訪問看護ステーションことぶき



⑥つわぶき

〒899-7103 志布志市志布志町志布志1-13-3
☎099-472-5666 FAX 099-473-3494

病院芳春苑(精神科)
ケアハウスぬくもり
グループホーム南の家族

熊毛・大島地区



①わらび苑

〒891-3101 西之表市西之表2981-1
☎0997-22-2600 FAX 0997-22-2601

社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター
わらび苑居宅介護支援事業所



②沖永良部寿恵苑

〒891-9112 大島郡和泊町和泊95-1
☎0997-92-3691 FAX 0997-92-3650

福山医院



③虹の丘

〒894-0046 奄美市名瀬小宿字苗代田3416-1
☎0997-54-8888 FAX 0997-54-8800

虹の丘訪問介護事業所
虹の丘居宅介護支援事業所
在宅介護支援センター虹の丘



④風花苑

〒891-9306 大島郡与論町麦屋字風花1305-5
☎0997-97-5011 FAX 0997-97-5012

龍美クリニック



⑤せとうち

〒894-0036 大島郡瀬戸内町大字阿木名1975
☎0997-73-1155 FAX 0997-72-4913

奄美中央病院
南大島診療所



⑥アマンデー

〒894-0504 奄美市笠利町節田字大湊1451-1
☎0997-63-1555 FAX 0997-63-0099

朝沼クリニック(診療所)
居宅介護支援事業所たちがみ
在宅介護支援センターたちがみ



⑦サザンコート

〒891-7101 大島郡徳之島町亀津7268
☎0997-83-0061 FAX 0997-83-0093

医療法人南溟会 宮上病院
社会福祉法人奄美同仁会 特別養護老人ホーム 南風園



⑧秋名の郷

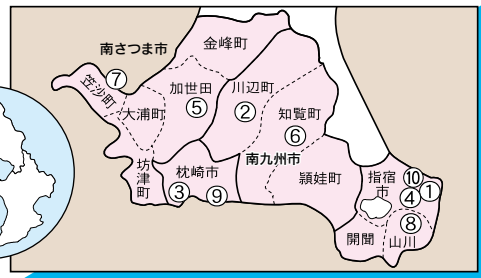
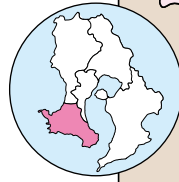
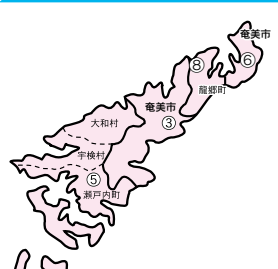
〒894-0332 大島郡龍郷町幾里字浜崎179
☎0997-62-4111 FAX 0997-62-4110

秋名の郷通所リハビリテーション
秋名の郷訪問介護事業所



⑨愛心園

〒894-0032 大島郡天城町瀬滝398番地
☎0997-85-5501 FAX 0997-85-5502



②かわなべ寿光苑

〒897-0221 南九州市川辺町田部田4848-4
☎0993-56-4311 FAX 0993-56-4331

菊野病院
寿光苑在宅介護支援センター



③エスポワール立神

〒898-0048 枕崎市火之神町630
☎0993-73-2266 FAX 0993-73-2265

小原病院
立神リハビリテーション温泉病院
ピースフル立神(介護老人福祉施設)



④指宿やすらぎ園

〒891-0304 指宿市東方7531
☎0993-24-5593 FAX 0993-24-5912

指宿竹元病院
指宿みどり館(認知症高齢者グループホーム)
老人性認知症センター



⑤ラポール吉井

〒897-0001 南さつま市加世田村原1丁目10-10
☎0993-53-8888 FAX 0993-53-8788

アルテンハイムリハビリテーションクリニック本町
加世田アルテンハイム
グループホーム なでしこ



⑥シルバーライフちらん

〒891-0911 南九州市知覧町塩屋16016
☎0993-85-4095 FAX 0993-85-4096

ちらんクリニック



⑦さつま野菊園

〒897-1302 南さつま市笠沙町赤生木11372-397
☎0993-63-1000 FAX 0993-63-1950

大迫医院
フレンドリーハウス のぎく(グループホーム)
特別養護老人ホーム 石垣の里



⑧ヴァンベールみどりの風

〒891-0514 指宿市山川大山2056-4
☎0993-35-3355 FAX 0993-35-3522

指宿浩然会病院
指宿訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所



⑨サザンケアセンター

〒898-0011 枕崎市緑町236
☎0993-72-8855 FAX 0993-72-9233

サザン・リージョン病院
サザン訪問看護ステーション
南方園(介護老人福祉施設)



⑩指宿温泉ケアサポート

〒891-0311 指宿市西方1050番地
☎0993-25-3653 FAX 0993-25-5393

医療法人聖仁会

新年を迎えて

祝 迫 正 豊

新しい年が始まった。まずは健康で良い年になりますように手をあわせた。年齢を重ねることに、これまでなかった新鮮で楽しいこと、うれしいことがあると幸いだ。

近年、AI関連やロボット開発のニュースが多い。世の中の多様な分野で活用され、すごいスピードで変化している。

昨年、東京の展覧会や隣県の第50回記念宮崎市美術展等の審査をした。出品された作品に写真をそのままコンピューター処理した絵や大きなキャンバスにスライド写真を透写し彩色した作品があった。この絵の評価をどうするか、審査対象となるのか?と議論となった。

ジュニア展の中学生、高校生の作品に写真をそのまま転写した絵?があつて審査中の話題となった。

コンピューター処理の作品評価、判断は難しい。人が創造した作品や遺産はその時代背景があつて当然だろうし。その時の絵画技法もあつて良い。急いで結論を出す必要もないだろうし寛容であつてほしい。

対照的に日々の制作は完全なマニュアルな作業だ。かかる時間や迷いの時間は無駄にも見えるかもしれない。AIのおかげでマニュアルな作品が新鮮な表現、高い価値が見えてくるかもしれない。

今回の表紙絵「窓辺のシクラメン」F4号、油彩画。この花は冬の寒い時期にうつむくように控えめに咲く。窓の優しい光と淡いピンクの色が饗宴しているようだ。

本作品は新年 1 月 2 日～12 日まで山形屋画廊で開催される個展「～時空、色彩と共に～」への出展作品となります。お近くにお越しの際は、ぜひ会場へお越しください。



表紙絵
「窓辺のシクラメン」
F4号



●作家略歴：祝迫 正豊（いわいざこ まさとよ）

1952年 南九州市生まれ 1986年 第70回二科展「特選」、鹿児島市「新人賞」
1988年 第43回南日本美術展「パリ賞」翌年フランス留学、パリ市で個展、第35回県美展 県美展賞（最高賞）
1992年 第77回二科展「二科賞」（最高賞）、他に会友賞、会員賞
1993年 文化庁現代美術展選抜展（全国巡回）
2000年 鹿児島県芸術文化奨励賞
2021年 南日本美術展「委嘱作家賞」
2023年 第107回二科展「東京都知事賞」
現在、二科会会員、南日本美術展委嘱作家、鹿児島純心大学・鹿児島純心女子短期大学非常勤講師

編集後記

◇母親の介護体験を持つ作家・児童文学者の藤川幸之助さんが当協会員を対象に講演。徘徊し、排泄物をまき散らす母に「いなくなってくれたら」と思いつめたこともあったそうですが、壮絶な介護の中で、「支える側が支えられ生かされる」との思いに至ったそうです。聴いているこちらの心が震えました。

◇昨年の思い出は、家族で関西・大阪万博に行ったことです。暑い中、会場入りのため長い列に並び、すでにヘトヘト。でも大屋根リングの上から見下ろす各国の建物は美しく、圧巻でした。

◇会社員時代に縁があつた霧島市は昨年、噴火や豪雨災害に見舞われました。よく知る地域が浸水被害や火山灰に覆われた様子にショックを受けました。自然の前に人間は無力ですが、みんなで防災や減災に努めていかなくてはと思います。何よりも今年は平穏な1年であることを願うばかりです。（米）

編集委員

米 森 俊一（県老人保健施設協会理事）
加治屋 洋（さるび苑）
角之上 洋一（ひまわり）

ろっけん鹿児島

（令和8年冬号）

通巻122号 無料

令和8年1月1日発行

編集人 米 森 俊一

発行人 今村 英 仁

印刷所 濱島印刷株式会社 鹿児島市上之園町17-2
発行所 公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会

〒800-0053

鹿児島市中央町8番地1 県医師会館3F

電話090(900)1047 FAX090(900)1049

E-mail:k-token@pc.minc.ne.jp

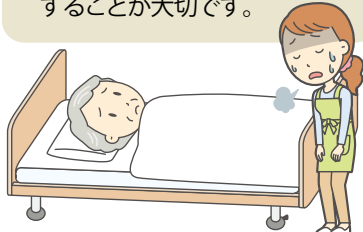
Website:https://kagoshima-token.or.jp/



地域で支え合いましょう。

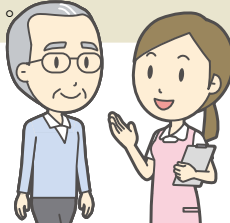
理解

虐待が起きる要因は様々です。
介護する側・される側
双方の不安や悩みを理解
することが大切です。



見守り

ご近所に気になる高
齢者や介護をしてい
る家族がいたら、ち
よっとした声かけをお願
いします。



相談

困りごとを抱えてい
る高齢者や家族がい
たら、地域包括支援
センター等への相談を勧
めましょう。



介護負担の軽減

1人で、家族だけでがんばりすぎないで

介護保険サービスなどを上手にを使って、介護負担を減らしましょう

おもなサービス

●通所介護（デイサービス）／通所リハビリテーション（デイケア）

日帰りで食事・入浴などの介護や、心身のリハビリテーションを受けられます。
※介護者が自分の用事や外出する時間を持つことができます。

●訪問介護（ホームヘルプサービス）

ホームヘルパーが自宅を訪問し、食事、入浴、排せつなどの介護をします。

●短所入所（ショートステイ）

施設などに短期入所し、食事、入浴、排せつなどの介護や看護を受けられます。
※介護者が休養したい時、冠婚葬祭等で介護ができない時にも利用できます。



★利用には… 介護保険の認定申請が必要です。お住まいの市町村や地域包括支援センター、最寄りの
居住介護支援事業書（ケアマネジャー）にご相談ください。

その他の制度や相談窓口

積極的に活用しましょう！！

制

●成年後見制度

認知症などにより判断力が不十分な方について、本人の権利を守る援助者を選ぶことで、本人を法的に
支援する制度です。

成年後見制度の利用や申立てについては、お住まいの市町村や地域包括支援センターにご相談ください。

（助成制度について）

低所得の高齢者に対しては、成年後見制度の申立て費用や後見人等の報酬の助成を行う「成年後見制度利用支援事業」による
支援があります。詳しくは、お住まいの市町村や地域包括支援センターにご相談ください。

度

●福祉サービス利用支援事業

判断能力に不安のある方に対する福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、書類等の預かりなどの生
活支援をするサービスです。

詳しくはお住まいの市町村の社会福祉協議会または鹿児島県社会福祉協議会にご相談ください。

相

談

窓

口

高齢者虐待についてのご相談は、お住まいの市町村 又は地域包括支援センターへご相談ください。

（連絡先記入欄）

●認知症に関する相談 【公益社団法人 認知症の人と家族の会鹿児島県支部】

（相談日／月～金 10:00～16:00） ※祝日、年末年始は除きます。

☎099-257-3887

●若年性認知症支援相談窓口 【社会福祉法人天祐会】

（相談日／月～金 10:00～17:00） ※祝日、年末年始は除きます。

☎099-251-4010

※市町村及び地域包括支援セン
ターの連絡先（電話番号）に
ついては、県ホームページに
も掲載しています。

高齢者虐待防止 鹿児島

検索

